

事業報告書

報告日付:2023年4月10日

事業ID:2022002963

事業名:【東京都渋谷区における「子ども第三の居場所」

(A)コミュニティモデルの運営(2年目)】

団体名:一般社団法人渋谷未来デザイン

事業完了日:2023年3月31日

1. 事業内容 東京都渋谷区における「子ども第三の居場所」(A)コミュニティモデルの運営

- (1) 期間:2022年4月~3月(週3日、15時から18時まで)
- (2) 場所:東京都渋谷区
- (3) 対象:課題を抱えた小学校低学年を中心に20名
- (4) 内容:「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を保管する。デジタルクリエイティブへの興味関心を育むことにより学習意欲の向上、気象や環境に関する好奇心を育むことにより社会と関わる力を、漫画を活用することで夢を抱くことや仲間の大切さを学ぶとともに自己肯定感を育む。

2. 事業内容詳細

15時~18時の時間帯で週3日(火・水・木)、全132日開所した。

1日3時間のうち、1時間を「好奇心の時間」とし、協力企業や団体による様々なプログラムを実施した。タブレット端末を活用したデジタルクリエイティブ体験、気象予報士による天気の仕事ワークショップ、地域団体によるまち遺産探しやバスケットボール、企業協賛プログラムなど、全14プログラムによる132時間の体験学習を提供した。

3. 契約時事業目標の達成状況

【助成契約書記載の目標】

1. 「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営(2023年3月31日までに一日平均利用児童数を30名にする)
2. 児童への居場所、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供
3. ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築
4. 子どもの「経験の不足」を解消するようなイベント実施

1. 2023年3月31日までに一日平均利用児童数を30名にする。
2. ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会の提供
3. 子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業期間内に定期的実施する。

【目標の達成状況】

1. 登録児童の多くは、習い事などにより参加できる曜日が特定されており、平均参加児童

数は11名であったが、登録児童以外の自由参加の児童も徐々に増えていった。

2. 週3日合計132日、放課後の時間帯に児童への居場所、生活習慣支援及び学習支援の安定的な提供をした。

3. 不登校児童の受け入れや体験など区の教育相談とは一定の関係を構築できた。しかしながら不登校児童が継続して参加するには至らなかった。

地域住民による複数のプログラムや行政（フレンズ本町）との連携イベントを実施した。

4. 京都市連携によるバーチャル体験、助け合いアプリ体験、英語釣りゲーム、アプリを使った曲作りや様々な楽器の演奏を体験する音楽プログラム、Minecraft カップ全国大会への応募など多様なプログラムを提供した。

また夏休み期間中にリアルまち遺産探検、3月には行政との連携イベントで次世代デジタルチャンバラの体験会を開催した。